

令和6年度 外国人留学生 入学試験要項

各入学試験の実施内容を変更する場合があります。

変更する場合は決定次第、本学ホームページなどで周知しますのでご注意ください。

[個人情報の取り扱いについて]

本学は、提出していただいた書類につきまして、重要な個人情報として十分留意し取り扱います。

なお、業務の必要上、入学試験の受付および実施に関わる業務の一部を第三者に委託する場合があります。この場合、機密保持契約の締結等により、個人情報が不適切に取り扱われないように、委託先を管理します。

また、出願書類に記載していただいた連絡先や、証明書等の発行元に、内容確認等のため連絡する場合がありますので、ご了承ください。

出願書類はこちらからダウンロードしてください

☆外国人留学生身上調書（全3枚）

☆自己申告書（全3枚）

ASIA University 2024

 亜細亜大学

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター
TEL 0422-36-3273

最後まで説明をしっかりと読み、わからないことは問い合わせてください。

Contents

）入試について

）出願・受験について

出願手続

ビザ（査証）・在留資格

）資料編

〈出願書類〉

- ・外国人留学生身上調書（全3枚）
- ・自己申告書（全3枚）

卒業認定・学位授与の方針／入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学		亜細亜大学（以下「本学」という。）は、教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」、及び、それを具体化した「教育の基本方針」（*）に基づき、建学の精神「自助協力」を体得し、各学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、各自の「個性値」を伸ばし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。 2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。 3. 他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。 4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。 *「教育の基本方針」とは「国際社会で貢献できる有為な人材の育成」「人間性重視の教育」「新しい社会を創り出す創造力あふれる人材の育成」の三つです。
経営学部	経営学科	経営学部経営学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、広い意味での「実学」、すなわち、経営学の専門知識とその実践的活用を通してマネジメントを行う能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。 1. 企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。 2. グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。 3. 情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。 4. 経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。
	ホスピタリティ・マネジメント学科	経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに関する専門知識と技能を身につけ、実務の遂行力+マネジメント能力+ホスピタリティマインドの3つの能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えて、次のような能力を修得した学生に学位を授与します。 1. ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる。（知識・理解） 2. 経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる。（思考・判断・技能・表現） 3. グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる。（関心・意欲・態度・表現）
経済学部	経済学科	経済学部（以下「本学部」という。）の教育課程において、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1. 経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。 2. グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている。 3. アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。 4. 他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。
法学部	法律学科	法学部（以下「本学部」という。）は、本学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。 1. 法学・政治学の基礎的知識を習得し、法的・政治的な問題点を発見する能力を有している。 2. 論理的な思考力・構成力を基に、合理的かつ適正な手続過程によって問題を解決する能力を有している。 3. 正義・自由・平等といった法的・政治的な感覚を体得している。 4. 立場の異なる者の主張する諸利益を的確に衡量し、バランス感覚に富んだ判断をする能力を有している。 5. 自己の主張を他者に対して説明し説得する能力など、自ら積極的に社会参加できる資質を有している。
国際関係学部	国際関係学科	国際関係学部国際関係学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。 1. 政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。 2. この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 3. 一定水準の英語運用能力を備えている。 4. 国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。
	多文化コミュニケーション学科	国際関係学部多文化コミュニケーション学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、アジアをはじめとする世界諸地域における多文化間の交流と対話を促進できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。 1. 国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を修得している。 2. 一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。 3. 多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 4. 文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。
都市創造学部	都市創造学科	都市創造学部（以下「本学部」という。）では、本学の課程を修め、必要な条件を充足し、かつ124単位を修得したうえで、アジア融合の視点にたった教養と都市創造学に関する専門知識・技能を修得し、次のような能力・資質を備えた人物に学位「学士（都市創造学）」を授与します。 1. 大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している。 2. 大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察できる。 3. 3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる。 4. 他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる。 5. 目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を継続できる。

入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

大学		<p>本学は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、以下のような人が国内外から本学に入学することを期待しています。特に、本学の教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」に共感し、建学の精神「自助協力」を体得しようとする志(こころざし)を持つ人を歓迎します。</p> <p>そのために各学部学科において多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する学部学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2. 身の回りの社会的現象から、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 3. 本学で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 4. 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 大学で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
経営学部	経営学科	<p>本学科は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ビジネス社会への関心が高く、グローバルな環境で活躍することや将来広くビジネス社会で働くことを希望している、次のような人を求めます。そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得している。 2. 高等学校における学習を通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力を身につけている。 3. 高等学校において資格・技能を獲得するなどさまざまな活動に参加しており、本学科で学ぶ4年間で自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持って多様な活動に積極的に参加できる。 4. 多様な社会・文化について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 本学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会と自己のキャリア形成に活かしたいという意欲がある。
	ホスピタリティ・マネジメント学科	<p>本学科は、ディプロマ・ポリシーで述べたような知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、ホスピタリティ・ビジネス、スポーツホスピタリティ・ビジネスへの深い興味と関心を持ち、将来はホスピタリティ・ビジネス、スポーツホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有する次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の教育内容が理解できるように高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得し、大学生活においてさまざまな活動にも積極的に参加する意欲がある。 2. ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに深い興味と関心を有する。 3. 将来ホスピタリティ・ビジネスやスポーツホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を有する。 4. 学習意欲、探究心、チャレンジ精神、自覚性、協調性、及び不屈の精神を有する。 5. 人と接することが好きで、ホスピタリティマインドの要素、論理的思考力、コミュニケーション能力を有する。 6. 将来のキャリアに対する明確な目的意識や意欲、適性を持つ。 7. 本学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。
経済学部	経済学科	<p>本学部は、経済及び社会の諸問題、その原因や対策、歴史などに対する強い関心を持ち、経済学と幅広い知識を獲得しようとする高い勉学意欲を持ち、将来の日本と世界の経済社会を担う意欲を持つ人を広く求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済や社会の諸現象を分析し、理解するための基礎学力(国語・英語など)と一般教養を十分に修得している。 2. 経済や社会に関する事柄の報告や討論について、基本的な理解力・伝達力を身につけている。 3. 経済学を中心とした幅広い知識の獲得を通して、自らを成長させたいという目的意識を持つ。 4. 経済や社会の諸現象について、自主的に多様な視点から考える姿勢がある。 5. 経済や社会の諸現象の問題解決に自ら取り組んでみようという意欲がある。
法学部	法律学科	<p>本学部は、ディプロマ・ポリシーで挙げた知識・能力・態度を持つ人材を育成するために、次のような資質を持った人が、広く全国から、またアジアを中心に世界各国から入学してくることを期待しています。特に、本学部の伝統を理解し、これを未来に伝えるとともに、未知への挑戦を恐れず、新たな伝統を形成する積極性を持つ人を歓迎します。</p> <p>そのために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学部の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程における国語や外国語(英語)、地理歴史、公民などの基礎的な学力を修得している。 2. わが国の法や政治に関心を有し、本学部で学ぶ知識・技能・態度・体験を社会のために活かしたいという意欲がある。 3. 学業のみならず、幅広い経験を通じて、社会の出来事から問題を発見し、自ら思考、判断し、行動へと結びつけることができる。 4. 社会・公共への広い関心を有し、自分と異なる意見にも耳を傾け、対話することのできる柔軟な精神を持っている。 5. 本学部で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。
国際関係学部	国際関係学科	<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会の動向に強い関心を持っている。 2. 社会科学を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかり学習している。 3. 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4. 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5. 外国語、特に英語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 6. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7. 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
	多文化コミュニケーション学科	<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーに示されるような人材を育成するために、以下のような人が広く国内外から本学科に入学することを期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アジアをはじめ世界各国の社会・文化・言語に、そして多文化間交流に強い関心を持っている。 2. 多文化間交流を学ぶにあたっての前提となる知識、特に地歴・公民に属する科目をしっかり学習している。 3. 報告、討論、レポート作成に必要な日本語能力を身につけている。 4. 英語を、読み、書き、聞き、話す基礎的な能力を身につけている。 5. 英語及びアジア諸言語の学習に高い意欲を持ち、将来国際的な職種での活躍を希望している。 6. 本学科の教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程を通じて基礎的な知識・技能を修得している。 7. 多様な価値観を尊重する態度を身につけ、明確な目的意識を持って積極的かつ主体的に学びを深めていこうとする姿勢を有する。
都市創造学部	都市創造学科	<p>本学部は、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げる人材を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市創造学部都市創造学科での教育内容が理解できるように、高等学校の教育課程において基礎的な知識・技能を修得していること。 2. 都市の魅力や課題について、自ら問題を発見し、自ら考え、自ら判断し、説明することができる。 3. 都市創造学部都市創造学科で学ぶ4年間で、自らのスキルやキャリアを向上させる意欲と明確な目的意識を持つ。 4. 都市の特徴について関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する積極性と、異なる意見に耳を傾ける柔軟性を有する。 5. 都市創造学部都市創造学科で学ぶ知識・技能・態度・体験を都市の創造のために活かしたいという意欲がある。

TOP

目次

卒業認定・学位授与の方針
／入学者受入れの方針

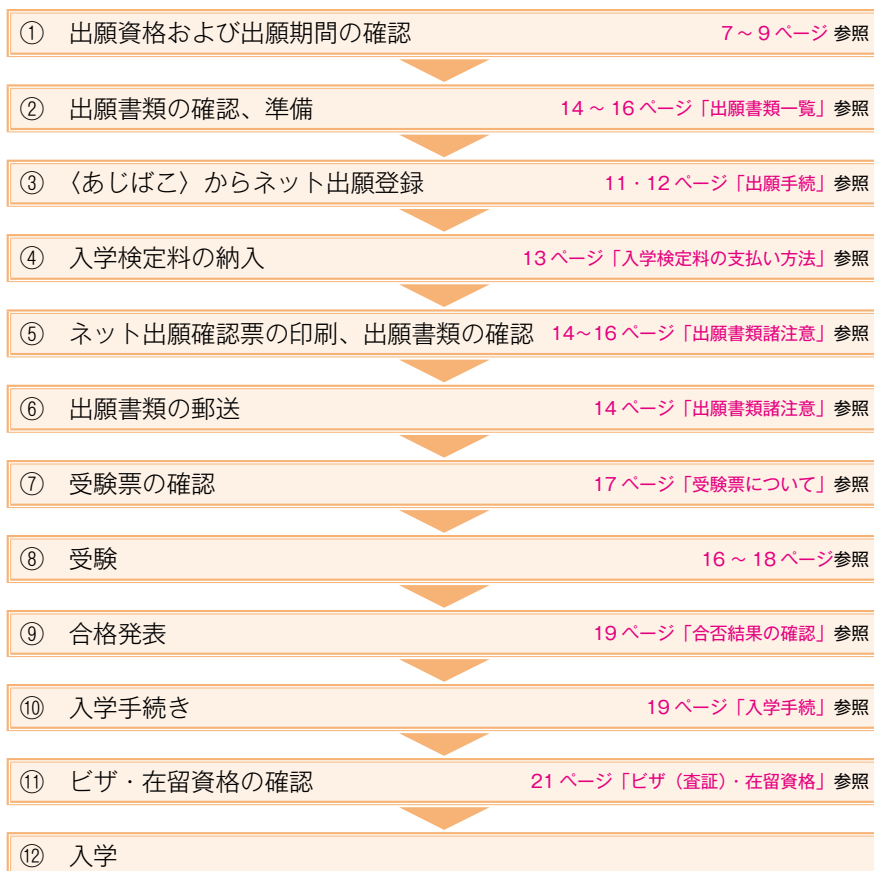
入試について

出願・受験について

資料編

入試について

出願から入学まで



入試日程一覧

		A 方式	B 方式	C 方式 ※出願時に日本国外に居住されている方のみ出願可能
出願期間		令和 5(2023)年 9 月 20 日 (水) ～ 9 月 27 日 (水)	令和 5(2023)年 11 月 7 日 (火) ～ 11 月 13 日 (月)	令和 5(2023)年 9 月 6 日 (水) ～ 9 月 13 日 (水)
試験日		令和 5(2023)年 11 月 26 日 (日)	令和 6(2024)年 1 月 7 日 (日)	書類審査
合格発表		令和 5(2023)年 12 月 4 日 (月)	令和 6(2024)年 1 月 15 日 (月)	令和 5(2023)年 11 月 1 日 (水)
入学手続 ※ 1	第 1 次 ※ 2	令和 5(2023)年 12 月 4 日 (月) ～ 12 月 12 日 (火)	令和 6(2024)年 1 月 15 日 (月) ～ 1 月 25 日 (木)	令和 5(2023)年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 10 日 (金)
	第 2 次 ※ 3	令和 6(2024)年 2 月 13 日 (火) ～ 2 月 20 日 (火)	令和 6(2024)年 2 月 13 日 (火) ～ 2 月 20 日 (火)	令和 6(2024)年 2 月 13 日 (火) ～ 2 月 20 日 (火)

※ 1 入学手続期間の延長は認めません。海外から入学手続をする場合には、第 1 次入学手続期間内にすべての入学手続を一括して行ってください。詳細は合格発表時に案内します。

※ 2 入学金の納入、入学手続書類の本学への送付と〈あじばこ〉上での入学手続入力が必要です。

※ 3 春学期分授業料等の納入が必要です。

外国人留学生出願資格

●外国の国籍を有し、次のいずれかの条件に該当する者

※なお、下記の(注1)～(注3)の条件をすべて満たすこと

1. 外国において、日本国以外の学校教育における12年の課程を修了した者および令和6（2024）年3月31日までに修了見込みの者
2. 1に準ずる者で、外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者および令和6（2024）年3月31日までに合格見込みの者で令和6（2024）年3月31日までに18歳に達する者
3. 1に準ずる者で、外国における高校に対応する学校の課程を修了し、日本国文部科学大臣が指定した準備教育課程（もしくは研修施設の課程）を修了した者および令和6（2024）年3月31日までに修了見込みの者
4. 1に準ずる者で、日本国文部科学大臣が指定した高等学校に対応する外国の学校の課程を修了した者および令和6（2024）年3月31日までに修了見込みの者
5. 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、またはGCEALevelを取得した者および令和6（2024）年3月31日までに取得見込みの者

※日本国文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験の合格者は含めない

(注1) 学校教育における12年の課程の中で、日本国の初等・中等教育課程の学校に在学した期間が通算2年以内であり、かつ卒業した高等学校が日本国以外の学校であること

(注2) 日本国の大学・短期大学（科目等履修生、聴講、別科を除く）に在籍したことがないこと

(注3) 学校教育における12年の課程の中で、日本国内に設置された日本国以外の教育制度による学校において日本国の初等・中等教育課程に相当する課程に在学した期間が通算2年以内であること

※ただし、外国人留学生入試C方式は、出願時に日本国外に居住していること

入試日程・選抜方法

A方式

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員	経営学部 経営学科…………… 10名 経済学部 経済学科…………… 若干名 法学部 法律学科…………… 若干名 国際関係学部 国際関係学科…………… 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科… 若干名 都市創造学部 都市創造学科…………… 5名							
選抜方法	経営学部 経営学科・都市創造学部 (1)日本語(筆記) (2)面接 (3)書類審査 経済学部・法学部・国際関係学部 (1)日本語 (2)英語 (3)面接 (4)書類審査							
出願期間	令和5(2023)年9月20日(水)～9月27日(水) ※出願書類の郵送は締切日消印有効							
入学検定料	32,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)							
試験日	令和5(2023)年11月26日(日)							
試験会場	本学(武蔵野キャンパス)							
試験時間割	経営学部 経営学科・都市創造学部 <table border="1"> <tr> <td>集合</td> <td>日本語(筆記)</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>9:30～10:30</td> <td>11:00～</td> </tr> </table>	集合	日本語(筆記)	面接	9:00	9:30～10:30	11:00～	
	集合	日本語(筆記)	面接					
9:00	9:30～10:30	11:00～						
経済学部・法学部・国際関係学部 <table border="1"> <tr> <td>集合</td> <td>日本語(筆記)</td> <td>英語</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>9:30～10:30</td> <td>11:00～12:00</td> <td>13:00～</td> </tr> </table>	集合	日本語(筆記)	英語	面接	9:00	9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～
集合	日本語(筆記)	英語	面接					
9:00	9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～					
合格発表	令和5(2023)年12月4日(月) (19ページ参照)							

B方式

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員	経営学部 経営学科…………… 7名 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科… 若干名 経済学部 経済学科…………… 若干名 法学部 法律学科…………… 若干名 国際関係学部 国際関係学科…………… 若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科… 若干名 都市創造学部 都市創造学科…………… 5名						
選抜方法	(1)日本語 令和5(2023)年6月または11月に実施の「日本留学試験(EJU)一科目(日本語)」の試験結果 (2)英語 (3)面接 (4)書類審査						
出願期間	令和5(2023)年11月7日(火)～11月13日(月) ※出願書類の郵送は締切日消印有効						
入学検定料	32,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)						
試験日	令和6(2024)年1月7日(日)						
試験会場	本学(武蔵野キャンパス)						
試験時間割	<table border="1"> <tr> <td>集合</td> <td>英語</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>9:00</td> <td>9:30～10:30</td> <td>11:00～</td> </tr> </table>	集合	英語	面接	9:00	9:30～10:30	11:00～
集合	英語	面接					
9:00	9:30～10:30	11:00～					
合格発表	令和6(2024)年1月15日(月) (19ページ参照)						

C方式

※出願時に日本国外に居住されている方のみ出願可能

募集人員	経営学部 経営学科……………若干名 経済学部 経済学科……………若干名 法学部 法律学科……………若干名 国際関係学部 国際関係学科……………若干名 国際関係学部 多文化コミュニケーション学科……………若干名 都市創造学部 都市創造学科……………若干名
選抜方法	(1)日本語 次の①、②のいずれかを利用 ① 令和5(2023)年6月に実施の「日本留学試験(EJU)一科目(日本語)」の試験結果 ② 令和4(2022)年7月、12月、令和5(2023)年7月に実施の「日本語能力試験(JLPT)」の試験結果 (2)英語 次の①、②のいずれかを利用 ① 令和3(2021)年4月から出願期間に提出できるTOEFL®テストの結果 ② 令和3(2021)年4月から出願期間に提出できるIELTSテストの結果 (3)書類審査
出願期間	令和5(2023)年9月6日(水)～9月13日(水) ※出願時に日本国外に居住されている方のみ出願可能 ※出願書類の郵送は締切日消印有効
入学検定料	14,000円 (13ページを参照し、出願期間内に納入してください)
試験日	書類審査のみ
合格発表	令和5(2023)年11月1日(水) (19ページ参照)

出願・受験について

出願手続

ビザ（査証）・在留資格

出願手続

I. 出願について

本学はネット出願を導入しています。詳しい出願方法は[次ページのII. ネット出願申し込み手順](#)で確認してください。

注意事項

- (1)出願期間は、入試形態により異なりますので、各入試のページでしっかりと確認してください。出願期間を過ぎた出願書類は受け付けできません。
- (2)日本国外からの出願の場合は、出願登録を始める前に入試部 アドミッションセンターに連絡してください。
- (3)出願はインターネットでの出願登録と入学検定料の納入および出願書類の郵送をもって完了となります。
- (4)入学検定料を納入しなかったり、出願手続きに不備がある場合には受験できなくなることがあります。
入学検定料の納入状況や出願書類の大学への到着状況は、〈あじばこ〉の [出願内容の確認・受験票の印刷](#) ボタンから確認できます。
- (5)出願が確定した後は入試形態、学部・学科の変更は認めませんので、登録の際はしっかりと確認してください。
- (6)出願書類を郵送する前に、必ず入学検定料を納入してください。入学検定料の支払方法については、[13ページ](#)を参照してください。
- (7)一旦受理した出願書類及び入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、次の①～③に該当する場合は入学検定料を返還します。
 - ①入学検定料を納入したが出願書類を提出しなかった場合
 - ②出願資格を満たさず、出願が受理されなかった場合
 - ③納入するべき入学検定料より過剰に納入した場合返還手続き方法や手続期限についての詳細は[コチラ](#)をご確認ください。
- (8)受験票は、オンラインで発行します。[17ページ](#)を参照してください。
- (9)A方式内およびB方式内の併願受験はできません。
- (10)出願後に転居などのために住所を変更した場合は、必ず入試部 アドミッションセンターに連絡をしたうえで最寄りの郵便局に「転居届」を提出してください。
また、連絡先電話番号を変更した場合も、必ず入試部 アドミッションセンターに連絡してください。
- (11)受験の際、特別な配慮を必要とする場合は、[16ページ](#)を参照してください。
- (12)インターネット環境がない志願者の方は、入試部 アドミッションセンターにお問い合わせください。

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター TEL：0422-36-3273

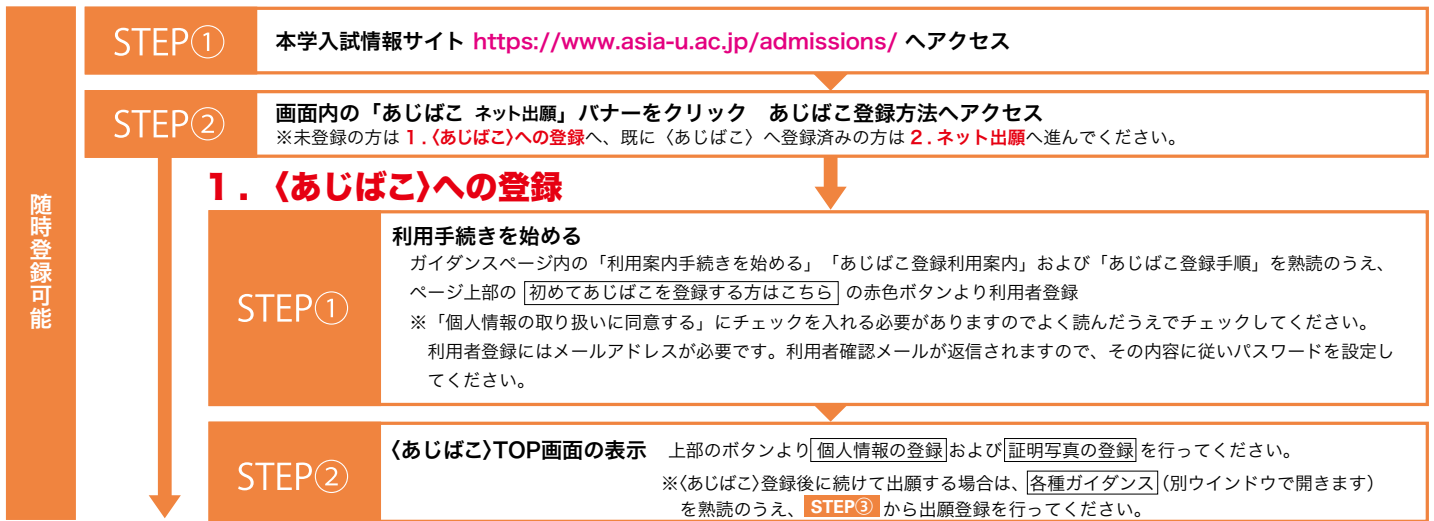
メール：nyushi@asia-u.ac.jp

出願書類に虚偽の申告があると判断した場合は、出願を認めません。合格発表後に判明した場合でも合格および入学許可を取り消します。また、一旦受理した出願書類および入学検定料等の経費は一切返還しません。

II. ネット出願申し込み手順

出願をするためには〈あじばこ〉への登録が必要となります。下記手順に従って手続きを進めてください。

はじめに



2. ネット出願



Ⅲ. 入学検定料の支払い方法

詳しい支払い方法の確認や支払いは、ネット出願登録後の登録完了画面や、〈あじばこ〉TOP画面の **出願内容の確認、受験票の印刷** から行えます。

Step 1 入学検定料の支払い方法を選択します。

登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。

画面表示に従ってお支払いを完了してください。

- クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step 2 【お支払い情報】を確認します。

コンビニ・ATMでのお支払いに必要な【お支払い情報】を取得します。【お支払い情報】は、お支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニ：コンビニ名を選択した後、【お支払い情報】取得ボタンを押してください。

- ATM（ハイジー）：画面表示に従い、【お支払い情報】取得ボタンを押してください。

Step 3 選択した支払い方法で入学検定料を支払います。

Step2で取得した【お支払い情報】を持参し、コンビニ（レジ、設置端末）・銀行ATMにて入学検定料を支払います。コンビニ・ATMでのお支払いの流れは以下のURLから参照してください。領収書は必ず受け取ってください。

コンビニでのお支払いの流れ

https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/cvs/



銀行ATM（ハイジー）でのお支払いの流れ

https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/



サービス利用料

入学検定料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時に確認してください。複数回登録する場合、サービス利用料がそれぞれ必要となります。

支払い期限について

出願登録完了後に通知される支払期限内に支払いがなかった場合は、登録した出願情報が無効になります。再度出願登録からやり直してください。

- 上記方法で入学検定料を支払うことができない方は、入学検定料を送金小切手（支払地＝東京、円建て、旅行小切手は不可）で支払うことができます。ただし送金小切手の額面は換金手数料を含めて、A方式・B方式「34,500円」、C方式「16,500円」としてください。なお、日本国内にいる親族が学費負担者が、日本の郵便小為替を郵送する場合には換金手数料はかかりません。
- 入学検定料等の経費は、すべて日本円で手続きしてください。

IV. 出願書類一覧 ※下記「V. 出願書類諸注意」を必ず読んでください。

出 願 書 類		A方式	B方式	C方式
(1)	ネット出願確認票、宛名ラベル	○	○	○
(2)	外国人留学生身上調書 (こちらからダウンロードしてください 全3枚)	○	○	○
(3)	自己申告書 (こちらからダウンロードしてください 全3枚)	○	○	○
(4)	出身高校および大学等の卒業証明書 (原本) 注	○	○	○
(5)	出身高校および大学等の各学年度別成績証明書 (原本)	○	○	○
(6)	日本語学校・留学生別科等の出席証明書 (原本)	○	○	○
(7)	a.『日本留学試験』受験票または成績確認書のコピー	—	○	○ (a.b.のいずれか)
	b.「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」(原本)		—	
(8)	a. TOEFL® Test Score Report ※本書をETS事務局から本学へ送付	—	—	○ (a.b.のいずれか)
	b. IELTS Test Report Form ※本書をIELTSテストセンターから本学へ送付			
(9)	パスポートのコピー	○	○	○
(10)	在留カードのコピー (両面)	○	○	○

注：中国の学校を卒業した方は、卒業證書（赤色の本型のもの）のコピーも必ず添付してください。

V. 出願書類諸注意

1. 本学所定の用紙はすべてA4サイズで印刷し、すべて揃えたうえで、市販の角2封筒を使用し郵送してください。
2. 出願書類は、すべて黒色ボールペンまたはペンで記入してください。(消えないもの)
3. 日本国内から出願する場合は、出願期間内に最寄りの郵便局から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください(締切日消印有効)。大学の窓口では出願書類を受け取りません。
4. 日本国外から出願する場合は、出願締切日までに本学へ到着するよう「EMS (Express Mail Service)」などで送ってください。また、**出願書類の追跡ができるお問い合わせ番号等を入試部 アドミッションセンターに連絡してください。**
5. 証明書の原本を提出することができない場合は、出願期間前に入試部 アドミッションセンターにお問い合わせください。
6. 原則として出願書類の追加提出は認めません。

※日本国外から出願する場合は、出願締切日までに本学へ到着するよう送ってください。

(1)	ネット出願確認票、宛名ラベル (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式とも、〈あじばこ〉での出願登録が完了すると「ネット出願確認票」「ネット出願確認票(控)」「宛名ラベル」のダウンロードが可能となります。「宛名ラベル」は封筒の表面に貼り付け、「ネット出願確認票」とその他の出願書類を郵送してください。「ネット出願確認票(控)」は本人控えとして、大切に保管してください。
(2)	外国人留学生身上調書 全3枚 (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式すべて共通の用紙を使います。上記出願書類一覧よりダウンロードしてください。 ②「受験方式」、「志願する学部・学科」欄は、ネット出願確認票と同一のものを○で囲んでください。 ③必要項目はすべて自筆で記入してください。
(3)	自己申告書 全3枚 (本学所定用紙)	①A方式・B方式・C方式すべて共通の用紙を使います。上記出願書類一覧よりダウンロードしてください。 ②自分の長所やこれまで活動したこと、本学で学びたいこと、日本への留学に期待していることなどを必ず自筆、日本語で書いてください。
(4)	出身高校および大学等の卒業証明書 (原本) 右欄の注1、2参照	卒業証明書(Graduation Certificate)または「Certified True Copy」(原本から正しく複製されたものであることが証明されているコピー)の原本(Original)を必ず提出してください。証明書の原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部 アドミッションセンターにお問い合わせください。 ①母国語または英語で記載されているものを必ず提出してください。 ②母国語が中国語または英語以外の言語の場合には、日本語もしくは英語の訳文を必ず添付してください。 ③大学、短期大学を卒業している場合は、その卒業証明書も提出してください。 ④高校を卒業せず修了した者は、大学検定試験合格の証明書を提出してください。 (例)台湾の場合は、「資格証明書」・「結業証明書」の両方を提出してください。 ⑤証明書は、令和5(2023)年4月以降に発行されたものを提出してください。 ⑥提出された証明書は、いかなる理由があっても返却しません。 ⑦出願資格確認のため、高校・大学などの卒業が確認できる証明書(卒業証書)や、修了証明書の原本確認をさせていただく場合があります。 注1：中国の学校を卒業した方は、卒業證書（赤色の本型のもの）のコピーも必ず添付してください。 注2：中国の学校を卒業した方は、証明書を「公証書」にしないでください。

(5)	出身高校および大学等の成績証明書 (原本) 右欄の注1、2参照	成績証明書(Official Academic Transcript)または「Certified True Copy」の原本(Original)を必ず提出してください。原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部 アドミッションセンターに問い合わせてください。 ①各学年度別(3年間あるいは4年間)に母国語または英語で記載されているものを必ず提出してください。 ②母国語が中国語または英語以外の言語の場合には、日本語もしくは英語の訳文を必ず提出してください。 ③大学、短期大学を卒業している場合は、その成績証明書も提出してください。 ④母国で大学に入学するための「普通高等学校招生全国统一考试」を受験している場合は、その成績証明書(コピー可)を提出してください。 ⑤証明書は、令和5(2023)年4月以降に発行されたものを提出してください。 ⑥提出された証明書は、いかなる理由があっても返却しません。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 2px;"> 注1：中国の学校を卒業した方は、中等教育における「普通高等学校招生全国统一考试」の結果(コピー可)を提出してください。※写真データのコピー不可。 注2：中国の学校を卒業した方は、証明書を「公証書」にしないでください。 </div>
(6)	日本語学校・留学生別科等の出席証明書 (原本)	現在、在籍している学校(日本語学校・留学生別科・専門学校等)の、 月毎の出席状況がわかる出席証明書(出願時に作成され厳封のもの) を必ず提出してください。また、現在在籍している学校の他に日本国内で在籍していた学校がある場合は、その学校の出席証明書も提出してください。 原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部 アドミッションセンターに問い合わせてください。
B方式志願者はaを必ず提出してください。C方式志願者はaもしくはbを必ず提出してください。		
(7)	a.『日本留学試験』 受験票または成績確認書 のコピー	【B方式】 令和5(2023)年6月または11月実施の日本留学試験(EJU)の受験票または成績確認書のコピーを提出してください。 【C方式】 令和5(2023)年6月に実施された日本留学試験(EJU)の受験票または成績確認書のコピーを提出してください。 ※日本留学試験は、独立行政法人日本学生支援機構が主催、実施しているものです。
	b.『日本語能力試験 認定結果及び成績に 関する証明書』 (原本)	【C方式】 令和4(2022)年7月、12月または令和5(2023)年7月に実施された「日本語能力試験(JLPT)」の左記書類を提出してください。 ※日本語能力試験は、公益財団法人日本国際教育支援協会、独立行政法人国際交流基金が主催、実施しているものです。
C方式志願者はaもしくはbを必ず提出してください。		
(8)	a.TOEFL® Test Score Report (原本) <small>※念のため出願時にはコピーも提出してください</small>	TOEFL®スコアを利用する場合は必ず本学(DIコード：0004)へのOfficial Score Reportの送付手続きを行ってください。 令和3(2021)年4月以降に受験し、その結果(Score Report)がETS事務局から本学宛に出願締切日までに直接送られてきたものだけを有効とします。 ※ 手続不備や郵便等の状況により、本学にScore Reportが届かないことがあります。必ず本人の責任において状況を確認し、必要に応じて再発送の手続きなどを行ってください。
	b.IELTS Test Report Form (原本) <small>※念のため出願時にはコピーも提出してください</small>	IELTSスコアを利用する場合は必ず自分が受験したテストセンターへメールや電話で連絡をし、本学へのTest Report Formの送付手続きを行ってください。 令和3(2021)年4月以降に受験し、その結果(Test Report Form)がIELTSテストセンターから本学宛てに出願締切日までに直接送られてきたものだけを有効とします。 ※ 手続不備や郵便等の状況により、本学にTest Report Formが届かないことがあります。必ず本人の責任において状況を確認し、必要に応じて再発送の手続きなどを行ってください。
(9)	パスポートのコピー	出願時に有効なパスポートを所持していない場合、受験できないことがあります。 氏名、顔写真、生年月日、性別、署名(Signature)、パスポート番号、パスポート発行日、パスポート発行地のページをすべてコピー(A4サイズの用紙)して提出してください。
(10)	在留カード 両面のコピー	両面をそれぞれA4サイズの用紙中央に140%拡大コピーしたものを提出してください。ただし、出願時に日本国外に居住していて在留カードを所持しない場合は、提出する必要はありません。

(注1) 本学所定用紙の記入に際して、特に指示のない限り日本語で書いてください。

(注2) 氏名等が違う証明書などを提出する場合は、本人のものであることを証明する書類もあわせて提出してください。

VI. 出身国・地域別必要証明書例

- (1) 以下は、本学が出願資格を確認するために必要な証明書例です。ここに書かれていない国・地域の出身で自分の出願資格が不明な場合、出願前に必ず入試部 アドミッションセンターにお問い合わせください。
- (2) 母国語または英語で記載されているものを必ず提出してください。
- (3) 母国語が中国語または英語以外の言語の場合には、日本語もしくは英語の訳文を必ず添付してください。
※各証明書は原本または「Certified True Copy」（原本から正しく複製されたものであることが証明されているコピー）の原本を必ず提出してください。証明書の原本を提出することができない場合、出願期間前に入試部 アドミッションセンターにお問い合わせください。

	卒業を証明する書類	成績を証明する書類
中国	高級中学の卒業証明書 ※職工、業余大学等を含まずに12年の普通教育を修了していること。 ※提出時には、卒業證書（赤色の本型のもの）のコピーもあわせて提出が必要です。	高級中学3年間の成績証明書 ※「普通高等学校招生全国统一考试」を受験した者は、その成績証明書（コピー可）
韓国	高校卒業証明書 大学検定試験の合格証明書	高校3年間の成績証明書 大学検定試験結果（証明書）
台湾	高級中学の卒業証明書 結業証明書と資格証明書	高級中学3年間の成績証明書 補校3年間の成績証明書
ベトナム	高校卒業証書	高校3年間の成績表
マレーシア	Form 6（Lower 6以上）の修了証明書 独立中学（高校）の卒業証明書	Form 4・5・6の成績証明書 独立中学（高校）の成績証明書
インドネシア	高校卒業証明書	高校3年間の成績証明書 大学入学統一試験結果
タイ	高校卒業証明書	高校3年間の成績証明書
フィリピン	college以上の卒業・修了証明書	college以上の成績証明書
バングラデシュ	Higher Secondary School Certificateとその成績証明書 ※ハイスクール、カレッジの卒業証明書・成績証明書も提出することが望ましい。	
アメリカ	高校卒業証明書	Grade 10・11・12の成績証明書
イギリス	GCE、GCSEの結果（GCE Aレベル2科目以上を合格していること）と12年以上の教育課程修了を証明するもの	
国際バカロレア資格	国際バカロレア資格証明書	最終試験6科目の結果

問い合わせ先

入試部 アドミッションセンター TEL：0422-36-3273 メール：nyushi@asia-u.ac.jp

受験の際特別な配慮を必要とする場合

下表に該当する志願者は、出願1か月前までに必ず入試部 アドミッションセンターに連絡してください。

区分	特別措置の対象となる者
(1) 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
(2) 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 補聴器又は人工内耳の装用が必要な者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
(3) 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
(4) 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
(5) 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー一症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
(6) その他	<ul style="list-style-type: none"> (1)～(5)の区分以外の者で配慮を必要とする者(車椅子等の使用が必要な者等)

受験票について

受験票はオンラインで発行します。大学から送付いたしません。下記を確認のうえ、受験票を取得してください。

受験票の発行と試験当日の持参について

受験票は大学での出願書類確認後、受験する入試形態ごとにそれぞれ1枚ずつ発行します。

〈あじばこ〉(<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/session/create>) にログイン後、出願内容の確認、

受験票の印刷を選択し、A4サイズの用紙に印刷のうえ、試験当日に持参してください。(カラー・白黒は問いません)

当日受験する入試形態を確認のうえ、該当の受験票を必ず持参してください。

※試験当日の3日前までに確認できない場合は、入試部 アドミッションセンターに問い合わせてください。

C方式については受験票は発行しません。出願書類確認後、受験番号を公開しますので、合格発表日の1週間前までに必ず確認してください。



あじばこはこちら

受験上の注意

- (1)試験当日の試験場の開門時刻は午前8時30分です。
- (2)試験開始の前に出欠確認を行いますので、集合時刻までに所定の席に着席してください。
- (3)試験当日は、出願時のネット出願確認票の写真と同様の容姿(髪型・眼鏡等)で受験してください。
- (4)試験会場に入室してから試験が終了するまでは、退室を認めません。
- (5)黒鉛筆(削ったもの数本)とプラスチック製の消しゴムを必ず持参してください。
- (6)辞書付時計、英文の印刷されている衣服や文房具類等は使用できません。
- (7)試験当日は、大学内の食堂は営業しません。昼食は各自で持参してください。
- (8)昼食会場はありません。必要な方は自席でおとりください。
- (9)駐車場はありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
- (10)受験時の試験室は、試験当日に試験場で確認ください。
- (11)大学・駅周辺において、チラシ配布などの勧誘業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係ありません。

試験時間中の注意事項

- (1)試験時間中は監督者の指示に従ってください。
- (2)試験時間中の途中退室は認めません。試験時間中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。なお、一時退室した場合でも試験時間の延長は認めません。
- (3)監督者の指示が聞き取れないことがありますので、「耳せん」は使用できません。
- (4)携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラーム設定を解除して電源を切って、かばん等に入れてください。携帯電話、時計等の機器が音(着信・アラーム・振動音など)を発した場合、持ち主の同意なく監督者が該当機器やそれが入っているかばん等を試験室の外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。また、これらの音は不正行為とみなされることがあります。
- (5)文字や地図がプリントされている衣服は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。
- (6)試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡視による足音、監督業務に必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は講じません。
- (7)試験時間中に机の上に置けるものは以下の通りです。これ以外のものは置くことができません。

受験票 黒鉛筆 (HB) シャープペンシル (芯ケース除く) プラスチック消しゴム 鉛筆削り (電動・大型・ナイフ類除く)	時計※ 眼鏡 目薬 ハンカチ (無地) ハンドタオル (無地) ティッシュペーパー (袋から取り出したもの)
---	---

●座布団、ひざ掛けについては、監督者に申し出のうえ、許可を受けて使用することができます(監督者が確認の結果、使用できない場合があります)。なお、座布団、ひざ掛けは無地のものに限りです。

※時計は腕時計型端末等の通信機能があるもの、辞書や電卓等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。

不正行為について

受験に際して、以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為となった場合には、当日の入学試験の全教科に加え、出願した本学の本年度入学試験すべての教科の得点を無効とし、それ以後の受験もできません。既に合格した本学の入学試験がある場合、合格を取り消します。この場合も入学検定料の返還は行いません。

- (1)カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- (2)使用を認められていない用具を使用すること。
- (3)解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- (4)解答終了の指示に従わず、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- (5)試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- (6)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー、イヤホン等を身に付けていたり、かばん等にしまわないこと。
- (7)試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴動させるなど、試験の進行に影響を与えること。
- (8)試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (9)試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- (10)試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (11)志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (12)試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
- (13)その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合について

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験開始時刻を繰り下げることがあります。詳細については、対応が決定次第、〈あじばこ〉に随時掲載しますので、各自で確認してください。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症への対応について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため、受験をご遠慮願います。当該理由により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置や入学検定料の返還は行いません。

合否結果の確認

各入試の合否結果は、〈あじばこ〉での確認となります。インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等で確認できます。

〈あじばこ〉にログイン後、画面の指示に従い、必ず確認してください。

画面での合格確認ができましたら、入学手続へ進んでください。

合格者には合格通知書を合格発表日に速達で発送しますが、合格発表日は必ずしも手元に合格通知書が到着する日ではありません。

なお、不合格通知は送付しません。

利用上の注意

- 本システムの「誤操作」「見間違い」などを理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- 合格発表直後はアクセスが集中することが予想され、一時的に本システムにつながりにくくなる場合があります。
- 本学への合否結果等に関する問い合わせには応じられません。受験生以外の方が本システムを利用する場合は、必要事項をあらかじめ本人に確認のうえ、利用してください。

本学ホームページ「受験生の方へ 入試案内」から
〈あじばこ〉へログインし、**合格発表** を選択
<https://exam-entry.52school.com/asia-u/mp/>



合格発表	
A方式	2023年12月4日（月）9：00～
B方式	2024年1月15日（月）9：00～
C方式	2023年11月1日（水）9：00～

入学手続

合格者は入学手続期間に〈あじばこ〉内に掲載の「入学の手引き」で手続方法を確認のうえ、入学手続を行ってください。

また、入学手続の際に使用する、学校納入金の振込用紙は送付しません。決められた期間内に〈あじばこ〉からダウンロード・印刷をし、銀行窓口等で納入手続を行ってください。

入学手続期間は入試形態によって異なりますので、**6ページ**の入試日程一覧で確認してください。

I. 第1次入学手続

- (1) 入学金納入
- (2) 〈あじばこ〉「入学手続」で必要事項の登録
- (3) 入学手続書類の提出

①受験生本人の住民票

※日本国外在住の場合は、来日後に提出していただきます。

②誓約書などの提出書類

〔注意〕日本国外在住の場合は、在留資格「留学」を早期に取得するために、「在留資格認定証明書交付申請書」の「所属機関等作成用書類」を早く受領する必要があります。

そのために第1次手続期間内に第2次手続を含むすべての入学手続を一括して行ってください。

詳細については、合格者に対して合格通知送付時に連絡します。

II. 第2次入学手続

- (1) 春学期分授業料等納入

初年度学校納入金 [予定]

※金額は予定額であり、変更する場合があります。
2024年度学校納入金は、9月中旬に決定します。

(単位：円)

種別	学部	経営学部	経済学部	法学部	国際関係学部	都市創造学部
入学金		230,000	230,000	230,000	230,000	230,000
授業料	春学期	380,000	380,000	380,000	400,000	400,000
	秋学期	380,000 (152,000)	380,000 (152,000)	380,000 (152,000)	400,000 (160,000)	400,000 (160,000)
施設設備料	春学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	秋学期	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
学友会費	入会金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	会費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
学生健康保険	入会金	500	500	500	500	500
	組合費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
同窓会終身会費積立金		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
後援会費		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
合計	春学期	771,000	771,000	771,000	791,000	791,000
	秋学期	510,000 (282,000)	510,000 (282,000)	510,000 (282,000)	530,000 (290,000)	530,000 (290,000)
	年額	1,281,000 (1,053,000)	1,281,000 (1,053,000)	1,281,000 (1,053,000)	1,321,000 (1,081,000)	1,321,000 (1,081,000)

※（ ）内は、外国人留学生（在留資格が「留学」）で、30%の授業料減免措置を受けられた場合の納入額です。授業料減免対象者は、申請書類を学内で審査し、決定されます。入学初年度の減免率は一律30%です。2年目以降の減免率は、前年度の成績に応じて変動します。詳細は、入学後に説明します。

●留学にかかる費用

亜細亜大学アメリカプログラム（AUAP）、亜細亜大学アジアスタディーズプログラム（AUASP）、亜細亜大学グローバルプログラム（AUGP）に参加する学生は、学校納入金の他に、留学費用の全額を出発前までに別途納入していただきます。外国人留学生は留学費用の納入とビザ（査証）の取得が条件となります。

- ・AUAPIは、本学独自の約5か月間のアメリカ留学プログラムです。
- ・AUASPは、選抜型の約5か月間のマレーシア留学プログラムです。
- ・AUGPは、春季・夏季の休暇を利用した短期留学プログラムです。

参加費用や留学先の詳細については、大学ホームページ（<https://www.asia-u.ac.jp/international/>）にて確認してください。

特待生制度

入試形態	選抜方法・人数・特典	
A方式	1. 選抜方法および人数	各学部とも各方式合格者のうち成績上位者（経営学部2名以内、経済学部・法学部・国際関係学部・都市創造学部若干名）で、所定の入学手続期間内に入学手続を完了した者は特待生として認定する。
B方式	2. 特典	(1) 入学金および当該年度の授業料を免除する。 (2) 2年次以降も前年度の学業成績が当該学部の上位5%以内であるときは、各学部教授会の意思を聴いて、継続して特待生として認定し、授業料を免除する。

ビザ（査証）・在留資格

I. 受験のための入国について

A方式・B方式の受験生は、本学武蔵野キャンパスで実施する入学試験を受けなければなりません。

日本国外在住者が受験する場合は、「短期滞在」ビザなどで来日してください。

また、日本国外在住の合格者に対しては、入学手続、在留資格認定証明書交付申請、ビザ（査証）の取得等来日のための諸手続の詳細について、別途直接連絡します。

II. 在留資格「留学」について

亜細亜大学で、授業料減免、奨学金受給、大学によるアパートの連帯保証人制度など、外国人留学生に対するサービスを受けるためには、在留資格「留学」を有していなければなりません。

大学へ入学した場合、入学後は時間の余裕がなくなりますので、5月31日以前に在留期間が満了する学生は、在留資格「留学」への在留資格変更や在留期間更新許可申請手続を3月までに行ってください。

(1) 現在、在留資格「留学」の方

東京出入国在留管理局で「在留期間更新許可申請」手続を行ってください。本学からは、入学手続完了後、「在留期間更新許可申請書」の「所属機関等作成用書類」などを発行します。（詳細は合格後の「入学の手引き」参照）

なお、「在留期間更新許可申請」は在留期限の3か月前から申請できます。

(2) 現在、在留資格「留学」以外の方

在留資格「留学」への変更が必要な場合は、その手続きについて必ず東京出入国在留管理局にお問い合わせください。

III. 「在留資格認定証明書（Certificate of Eligibility）」

(1) 現在、在留資格「短期滞在」で日本に滞在している場合

①入学式(4月上旬)に出席するため、3月下旬までに在留資格「留学」を取得できるように、「第1・2次入学手続(すべての入学手続)」を行ってください。

②「在留資格認定証明書交付申請」を東京出入国在留管理局で行ってください。

③「在留資格認定証明書」が発行されたら、東京出入国在留管理局で「在留資格変更許可申請」を行ってください。

※「短期滞在」の在留期間中に「在留資格認定証明書」が交付されない場合は、必ず帰国して(2)①②③の手続を行ってください。

※「短期滞在」から「留学」への「在留資格変更許可申請」は、特殊な事情がある場合のみの対応となります。

(2) 現在、在留資格を持たずに日本以外に居住している場合

①入学式(4月上旬)に出席するため、3月下旬までに在留資格「留学」を取得できるように、「第1・2次入学手続(すべての入学手続)」を行ってください。

②「在留資格認定証明書交付申請」を行ってください。

③「在留資格認定証明書」が発行されたら、在外公館で留学ビザを申請してください。

④来日後、空港で「在留カード」を受領し、住居地が決まったら市・区役所、町・村役場で「住居地の届出」を行ってください。

※「在留資格認定証明書」の申請から交付までには、通常2～3か月必要です。

※「在留資格認定証明書」の交付申請は、本人の他、在日親族、学費負担者、大学職員が行うことも可能ですので、日本以外に居住していても申請できます。

※手続に関する詳細は、東京出入国在留管理局へ直接問い合わせてください。

外国人留学生の中で、東京出入国在留管理局が、在留資格変更、在留期間更新を認めないケースが過去にありました。合格した場合には、早めに東京出入国在留管理局に在留資格変更、在留期間更新について確認してください。

資料編

過去の入試結果

	A方式				B方式				C方式			
	2023年度		2022年度		2023年度		2022年度		2023年度		2022年度	
	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格
経営学 学部 経営学 学科	70	25	77	22	16	3	17	3	0	0	2	1
経営学 学部 ホスピタリティ・マネジメント 学科	—	—	—	—	1	0	0	0	—	—	—	—
経営学 学部 経済学 学科	6	4	9	3	6	4	4	1	0	0	1	1
法学 学部 法律学 学科	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際関係 学部 国際関係学 学科	6	2	4	2	2	1	3	0	0	0	0	0
国際関係 学部 多文化コミュニケーション 学科	4	1	3	1	5	3	1	0	1	1	1	1
都市創造 学部 都市創造学 学科	18	10	16	5	1	1	3	2	1	1	1	1
合計	105	42	111	33	31	12	28	6	2	2	5	4

※ホスピタリティ・マネジメント学科はB方式のみ実施。

過去問題について

本学の過去問題は〈あじばこ〉内の〈あじばこプラス〉で公開しています。

〈あじばこ〉にログイン後、トップ画面左上の〈あじばこプラス〉のバナーから、「過去問アーカイブス」で確認してください。

なお、解答については公開しておりません。

学生生活

本学では、創設以来の理念である「アジア地域への貢献」を果たすべく、アジアからの留学生を中心に、世界各国からの留学生を積極的に受け入れています。

大学、大学院、留学生別科（日本の大学進学を目的とした日本語教育機関）の学生たちが同じキャンパスで学んでいます。

その中で約300名の留学生が在籍しており、学内交流イベントや地域市民グループとの交流会などの活動を通して、日常生活の中で異文化への理解を深めることができる場となっています。

すべての留学生が「留学生会」に所属しており、国際交流パーティー、キャンプ、学園祭への参加、留学生弁論大会など、年間を通してイベントで活発な交流が行われています。

《2023年度国籍・地域別外国人留学生数（総数311名）》

（2023年4月現在）

国籍・地域	人数	国籍・地域	人数	国籍・地域	人数	国籍・地域	人数
アラブ首長国連邦	1	タイ	15	フィリピン	2	モンゴル	3
インドネシア	3	台湾	5	ベトナム	59	トルコ	1
カンボジア	5	中国	196	マレーシア	7	バーレーン	1
韓国	4	中国（香港）	3	ミャンマー	5	ケニア	1

授業 [2024年度(予定)]

1 留学生のための特別科目

1年次生や2年次生の時に日本語能力と日本についての知識を高めるために、留学生を対象とした科目やクラスを開設しており、外国人留学生が本学で学修するうえで、有益なカリキュラム編成となっています。

●全学共通科目

各学部で、選択科目として、「日本史Ⅰ・Ⅱ」「ジャパン・スタディーズⅠ・Ⅱ（3・4年次開設）」※ASEAN奨学金留学生必修の4科目で留学生クラスを開設しています。

経営学部では「文章表現」（経営学科：選択必修科目、ホスピタリティ・マネジメント学科：選択科目）、さらに経営学部では、「オリエンテーション・ゼミナール」（1年次必修科目）で、留学生クラスを開設しています。

●日本語

経営学部経営学科、国際関係学部多文化コミュニケーション学科、都市創造学部は8科目、経済学部、法学部、国際関係学部国際関係学科は10科目を必修科目として開設しています。なお、選択科目として、2年次に「中級日本語Ⅰ～Ⅳ」、「上級日本語Ⅰ・Ⅱ」を開設しています。また、3年次に「上級日本語Ⅲ・Ⅳ」も開設しています。

●専門科目

国際関係学部多文化コミュニケーション学科では、「地域言語（日本語）初級Ⅰ～Ⅵ」を開設しています。

2 英語

グローバル社会に対応するべく意思疎通を図る手段としての英語力を身に付けることを目指し、実践的な英語学習を中心とするクラス「英語（フレッシュマン・イングリッシュ）Ⅰ・Ⅱ」を必修科目として開講しています。授業はネイティブスピーカー教員によるコミュニケーション能力、特に聴解力、会話力の向上を目的とした内容です。レベル別にクラス分けが行われるので習熟度にあったクラスで受講できます。

外国人留学生を対象とする奨学金 [前年度実績]

※奨学金は、在留資格「留学」が条件である場合がほとんどです。選考は、学業成績等が基準となっています。

●亜細亜大学独自の奨学金

亜細亜学園私費外国人留学生奨学金／東急奨学金（外国人留学生）／亜細亜学園外国人留学生支援基金奨学金／亜細亜学園冠留学生奨学金

◆ASEAN諸国留学生奨学金

C方式合格者のうち、以下の条件を満たし合格通知とともに発送する奨学金申請書を提出した者に対し、Web面接を実施して選考します。選考により、奨学生として認められた場合には、学部4年間の学費全額、教材費および入学検定料、当初2年間の大学指定宿舍使用料を支給します。

（入学後、学年毎に成績基準による奨学金継続審査を行います。）

申請条件

- ①ASEAN諸国の国籍を持つこと（日本国籍を有さないこと。日本国内在住者は対象外）
- ②高等学校を卒業見込みの者、または卒業後1年未満の者
- ③日本語能力試験（JLPT）N2またはN1を取得している者

※詳細についてはインターナショナルセンター（0422-36-3255/kkcis@asia-u.ac.jp）にお問い合わせください。

●民間財団等の奨学金

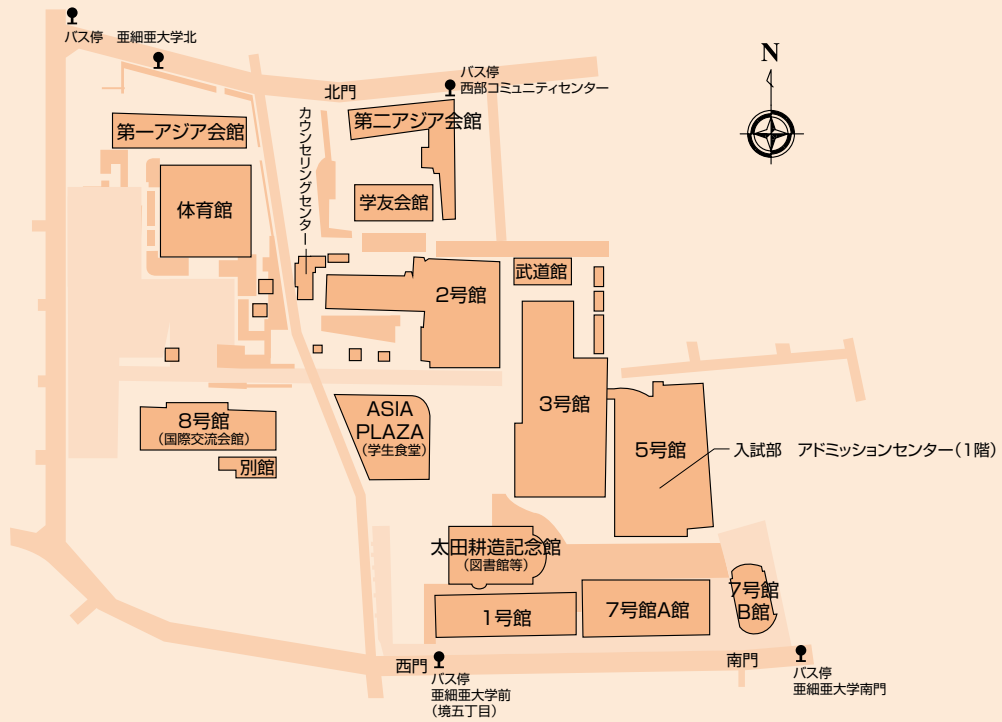
アシュラン国際奨学財団／アジア留学生奨学会／井内アジア留学生記念財団／インナートリップ国際交流協会／川嶋章司記念スカラーシップ基金／共立メンテナンス奨学基金／小林財団／春秋育英会／高澤三次郎国際奨学財団／日本国際教育支援協会（JEES）／日本汎太平洋東南アジア婦人協会（日本バシワ）／長谷川留学生奨学財団／ヒロセ財団／平和中島財団／守谷育英会／ロータリー米山記念奨学会／綿貫国際奨学財団 ほか

●その他の奨学金

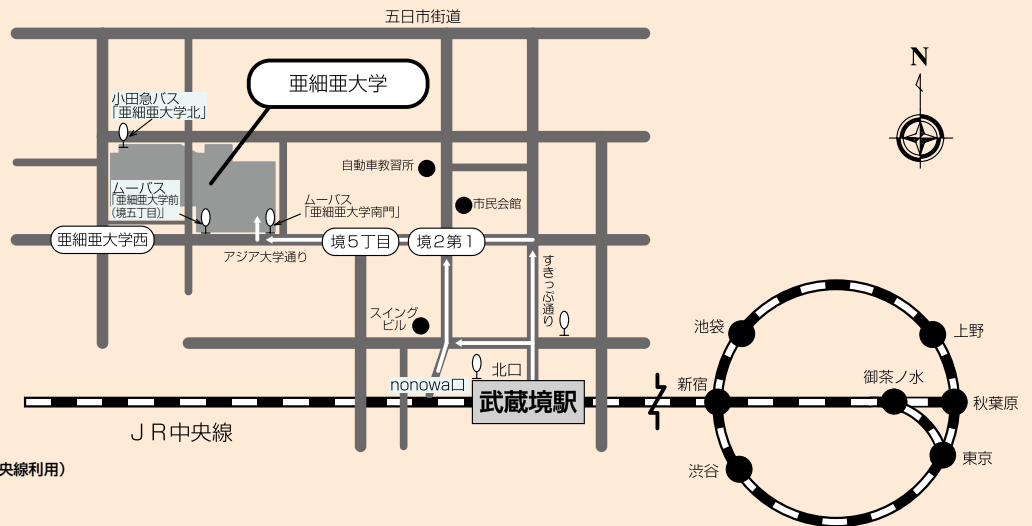
留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）

学校案内図

【武蔵野キャンパス】



所在地案内図



交通案内

武蔵境駅まで

- 東京駅から約32分(JR中央線利用)
- 新宿駅から約19分(JR中央線利用)
- 大宮駅から約45分(JR埼京線・JR中央線利用)
- 千葉駅から約67分(JR総武線・JR中央線利用)
- 羽田空港から約64分(東京モノレール・JR山手線・JR中央線利用)
- 西武新宿線「田無駅」から約15分
(西武バス「武蔵境駅」行利用「武蔵境駅」(終点)下車)

※乗り換え時間は含まれていません。

武蔵境駅からキャンパスまで

- 北口またはnonowa口から徒歩12分
- 北口駅よりコミュニティバス(ムーバス)で「亜細亜大学前(境五丁目)」または「亜細亜大学南門」下車、徒歩0分
- 北口駅より小田急バス「団地上水端」行で「亜細亜大学北」下車、徒歩1分

※駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。